

わたしたちのまちの予算

平成28年度当初予算は、「未来へ飛躍する予算」

平成28年度は、計画初年度となる第2次越前町総合振興計画に掲げる各種施策を着実に進め、将来的な人口減少を見据えながら、魅力と活力ある「ふるさと越前町」の創生に向けて本格的に始動する年です。

このため、平成28年度予算は、

越前町が未来へ飛躍する予算
「ふるさと越前町の創生に
向けた未来志向型予算」

として編成し、町民がいつまでも誇りをもち、安心して暮らし続けることができるよう、これまで育んできたまちづくりをさらに飛躍させる予算としています。

■予算規模

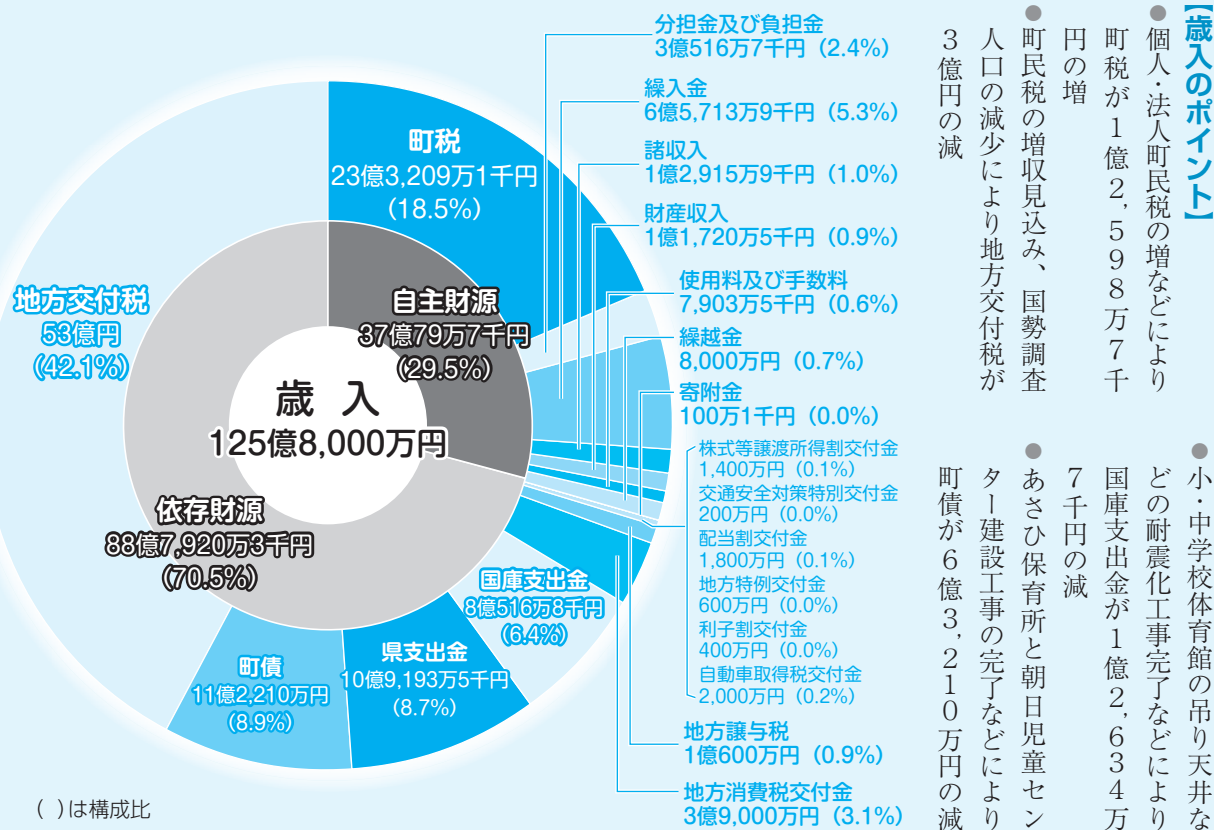
平成28年度当初予算額は、一般会計、特別会計、事業会計を合わせ200億7,209万4千円で、前年度より10億8,165万9千円の減（5.1%減）となりました。一般会計では、125億8,000万円で、前年度より9億4,000

万円の減となりました。前年度の朝日地区統合保育所（あさひ保育所）と朝日児童センターの整備事業が完了したことによる減少が大きくなっていますが、公債費（借金返済）で3億3,906万7千円の減、人件費で1億572万3千円の減となるなど、行財政改革の推進による財政規模のスリム化が進んでいます。

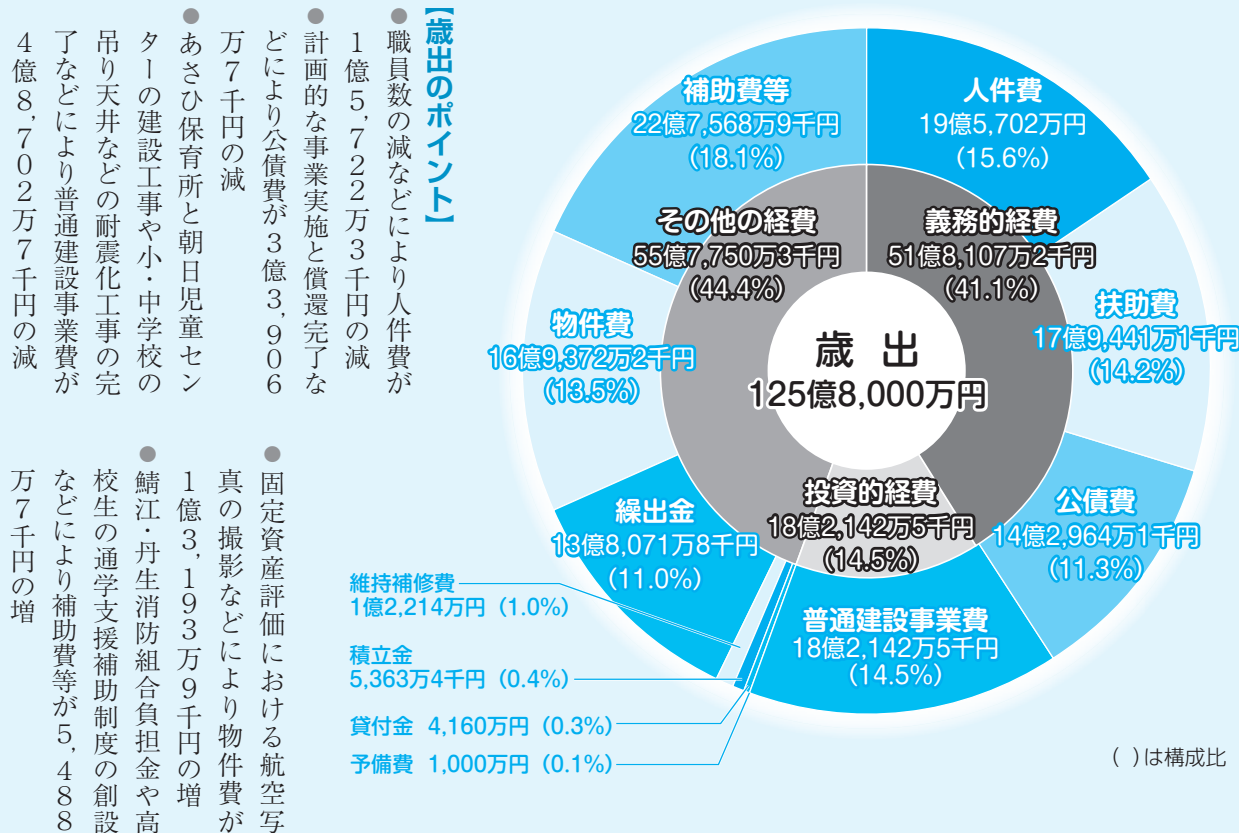
一方、町の創生に向けた事業として、越前水仙を活かしたまちづくり事業による越前岬水仙ランドや泰澄の杜をはじめとする観光施設の改修、高校生の通学支援制度の創設、避難拠点となる小中学校に太陽光発電システムを設置、統合学校給食センターの建設に必要な設計などに着手するなど、観光立町や手厚い教育環境の実現に向け、積極的に予算を計上しました。



一般会計・歳入予算の内訳



一般会計・歳出予算の内訳



会 計 名		平成28年度予算額 ①	平成27年度予算額 ②	増 減 額 ①－②	増減率 (①－②)／②
一 般 会 計		125億8,000万円	135億2,000万円	▲9億4,000万円	△7.0%
特 別 会 計	国民健康保険事業	25億9,357万8千円	24億9,337万4千円	1億20万4千円	4.0%
	介護保険事業	23億7,779万5千円	24億631万7千円	▲2,852万2千円	△1.2%
	後期高齢者医療事業	2億2,927万1千円	2億2,953万8千円	▲26万7千円	△0.1%
	簡易水道事業	3億8,419万6千円	4億2,513万2千円	▲4,093万6千円	△9.6%
	公共下水道事業	6億3,233万7千円	7億9,308万7千円	▲1億6,075万円	△20.3%
	集落排水事業	3億3,625万4千円	3億3,831万9千円	▲206万5千円	△0.6%
	温泉事業	1,451万1千円	1,501万1千円	▲50万円	△3.3%
	農林漁業体験実習館事業	2,877万円	2,850万2千円	26万8千円	0.9%
	土地区画整理事業	1,705万6千円	5,600万2千円	▲3,894万6千円	△69.5%
	小 計	66億1,376万8千円	67億8,528万2千円	▲1億7,151万4千円	△2.5%
事業会計	上水道事業	4億2,324万8千円	4億718万6千円	1,606万2千円	3.9%
	国民健康保険病院事業	4億5,507万8千円	4億4,128万5千円	1,379万3千円	3.1%
	小 計	8億7,832万6千円	8億4,847万1千円	2,985万5千円	3.5%
合 計		200億7,209万4千円	211億5,375万3千円	▲10億8,165万9千円	△5.1%

越前さんちの家計簿

平成28年度一般会計の予算の歳入と歳出をそれぞれ1,000分の1にし、1年間の家計に例えてみます。



収入

①給料……………	233万円
町税（町民税や固定資産税などみなさんが納めた税金）	
〔前年度より12万円の増〕	
②財産・臨時収入……………	63万円
使用料（町の施設や設備の利用料など）	
負担金（町の事業で便利を受ける人が負担するお金）	
諸収入（貸付金の元利収入や団体・個人からの負担金など）	
財産収入（町の土地などの売却代金）	
寄附金（個人や団体から寄附されるお金）	
〔前年度より1万円の増〕	
③貯金の取崩し……………	66万円
繰入金（町が積み立てているお金（基金）の取崩し）	
〔前年度より5万円の減〕	
④前年度の残金……………	8万円
繰越金（前年度決算の繰越金）	
〔前年度と同額〕	
●自主財源（①～④）	370万円
⑤支援金……………	776万円
地方交付税（財源不足に対して国から交付されるお金）	
国・県からの補助金（法律などに基づく交付金や事業の実施に対する補助金）	
〔前年度より39万円の減〕	
⑥借金……………	112万円
町債（銀行などからの借金）	
〔前年度より63万円の減〕	
●依存財源（⑤～⑥）	888万円

〔収入合計1,258万円〕

支出

①生活費……………	593万円
人件費（各種委員の報酬や職員給与に係るお金）	
物件費（施設の管理費や事業の委託料）	
補助費など（団体などに対する負担金や補助金）	
〔前年度より3万円の増〕	
②医療費……………	180万円
扶助費（高齢者や障がい者、子ども福祉などに係るお金）	
〔前年度より2万円の増〕	
③借金返済金……………	143万円
公債費（町債の元金・利子の支払いに係るお金）	
〔前年度より34万円の減〕	
④家の新増築や家財などの購入費……………	182万円
普通建設事業費（施設や道路などの新設・改修や大規模な設備の購入に係るお金）	
〔前年度より49万円の減〕	
⑤修繕費……………	12万円
維持補修費（施設の修繕に係るお金）	
〔前年度より2万円の減〕	
⑥子どもへの仕送り……………	138万円
繰出金（国民健康保険や上下水道などの特別会計、事業会計に支出されるお金）	
〔前年度より2万円の減〕	
⑦貯金……………	5万円
積立金（実施予定の事業や将来の財政運営のために積み立てるお金）	
〔前年度より12万円の減〕	
⑧知人への貸付け……………	4万円
貸付金（団体などに貸し付けるお金）	
〔前年度と同額〕	
⑨予備……………	1万円
予備費	
〔前年度と同額〕	

〔支出合計1,258万円〕

重要施策

①新たな誘客戦略の展開による活力みなぎる観光立町の実現

町内の観光施設や宿泊施設への誘客戦略事業などに取り組み越前町観光連盟の活動を支援します。

7,500万円

●ビュートイフル3セット（越前水仙・絶景・夕日）を活かした観光地づくりのための越前岬水仙ランドの改修と企画・運営を行います。

1億3,271万円

●観光資源を活かし、まちの魅力を高めるため、越前山、プラントピア、越前陶芸村、道の駅「越前」、劔神社周辺など、各地区の観光施設の再整備基本構想を策定します。

936万円



劔神社

②未来を担う人材を育む特色ある手厚い教育の実践

きめ細かな教育環境の充実を図るため、指導主事や教育相談員、小学校の複式学級講師、小・中学校生活支援員、スクールカウンセラーなどを採用します。

7,144万円

●小規模小学校が合同で授業を行う「あつまる授業」とICTを活用した遠隔地事業「つながる事業」により、学校間連携による授業を実践します。

180万円

●児童にとって分かりやすい授業を行うため、小中学校にデジタル教科書を導入します。また、中学校のパソコン教室などの機器類を更新します。

5,788万円

●4地区の学校給食センターを統合し、新しい統合学校給食センターを建設します。（今年度は測量や設計を予定しています）

8,055万円

重点施策

①農林水産業の担い手と商工業の後継者育成

▼町の第1次産業の担い手を育成するため、様々なフェアでのPR活動や新規農業就業者研修生、ふくい水産カレッジ研修生の住居を確保します。

256万円

▼越前がにの最大産地である町を広くアピールするとともに、漁獲高の向上のため、越前がにミュージアムを改修し、飼育条件の調査を行います。

2億1,532万円

②結婚・出産・子育てに対する包括的な支援

▼結婚を望む独身者を応援するため、地域ボランティアが行う若者出会い交流応援事業などを支援します。

284万円

▼遠距離通学の高校生世帯の経済的負担を軽減するため、通学定期券の購入に対し補助します。

1,900万円

▼18歳未満の子どもが3人以上いる世帯の経済的負担を軽減するため、第3子以降の保育料を無料化します。

4,420万円

③受入環境の充実による移住・定住の促進

▼県内外の大学生などの就職を促進するため、企業体験ツアーの開催や町に定住し就職した人に奨励金を交付します。

183万円

▼移住を希望する都市住民に町の住みやすさを知ってもらうため、新たに宮崎地区に移住・二地域居住体験施設を整備します。

914万円

▼定住人口の増加を図るため、都市計画区域内の農振農用地以外で2戸以上の宅地開発を行う民間事業者に対し補助します。

500万円